

令和5年度

事業計画書

社会福祉法人 日立市社会福祉事業団

令和5年度社会福祉法人日立市社会福祉事業団事業計画

はじめに

日立市社会福祉事業団は、昭和50年に特別養護老人ホーム日立市萬春園の設置を機に設立されて以来、日立市の社会福祉施設の管理運営を主に高齢者福祉及び障害者福祉の一翼を担ってまいりました。

平成18年度からは指定管理者として日立市萬春園等の管理運営業務を受託し、適正かつ円滑な管理運営に努めているところでございますが、超高齢社会の到来の中で、介護の重度化や慢性的な人員不足等、本事業団を取り巻く環境は、依然として厳しいものになっております。

令和5年度は、萬春園の新施設への円滑な移転をはじめ、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の発生動向等に留意しながら、適切な感染症対策を実施するとともに、日立市介護サービス事業経営戦略に基づく行動計画の推進目標に沿って、利用者の定員確保による施設利用率の向上及び新たな加算取得など経営改善に向けた取組を組織として積極的に進めてまいります。また、外部講師による階層別研修や接遇マナー研修などの実施により、将来を担う人材育成を行うとともに、タブレットを活用した介護記録の電子化や先進介護機器の導入など、ICTの利用促進による業務の効率化や職員の負担軽減を図り、働きやすい職場環境づくりを推進してまいります。

さらに、地域の福祉ニーズが多様化する中、公設民営としての社会的な使命を十分に認識し、低所得者のほか様々な理由による入所困難者の受入れなど、セーフティネットとしての役割を果たしていくとともに、地域の中で信頼される施設として、住民の皆様と連携を図りながら、地域社会における福祉の向上により一層努めてまいります。

I 運営方針

- 1 日立市が設置した社会福祉施設の指定管理者として、公設民営の役割を自覚し、広く多様化する市民のニーズに沿った福祉サービスの提供に努め、日立市における社会福祉の増進に寄与する。
- 2 利用者本位の満足度の高いサービスを提供し、生活の質の向上と自立に必要な援助を行う。
- 3 研修体系の充実を図り、専門的な知識や技術に加えて、豊かな人間性と情熱を持った人材を育成する。
- 4 ボランティアや実習生の受け入れを積極的に行い、広く福祉に携わる人材の育成に貢献するとともに、開かれた施設運営を目指す。
- 5 社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を効果的・適正に行うため、自主的に経営基盤の強化を図るとともに、事業経営の透明性の確保を図る。

II 事業概要

1 指定管理者受託施設

施設・事業名	種 別	定員(人)	受託年月日
萬春園	特別養護老人ホーム (指定介護老人福祉施設)	100	S 50. 4. 1
同 短期入所事業	老人短期入所事業 (指定短期入所生活介護事業所・指定 介護予防短期入所生活介護事業所)	空床利用	
はまぎく荘デイサービスセンター	老人デイサービスセンター (指定通所介護事業所・指定基準型通 所介護サービス事業所)	25	S 63. 7. 1
かねはたデイサービスセンター	老人デイサービスセンター (指定通所介護事業所・指定基準型通 所介護サービス事業所・指定認知症 対応型通所介護事業所・指定介護予 防認知症対応型通所介護事業所)	一般 25 認知症 8	H12. 3. 1
かねはた短期入所施設	老人短期入所施設 (指定短期入所生活介護事業所・指定 介護予防短期入所生活介護事業所)	20	H12. 3. 1
同 障害福祉サービス事業	(指定短期入所事業所)	空床利用	H19. 1. 1
かねはた老人ホーム	養護老人ホーム	50	H12. 2. 1
大みかけやき荘	障害者支援施設 (指定生活介護事業所・指定施設入所 支援事業所)	50	S 57. 4. 1
同 障害福祉サービス事業	(指定短期入所事業所)	宿泊 3	
老人福祉センターはまぎく荘	老人福祉センター	130	S 63. 5. 2

2 受託事業等

事業名	施設名	定員(人)	受託年月日
生活管理指導短期宿泊事業	かねはた老人ホーム	2	H12. 4. 1
生きがいつくり支援事業	かねはた 老人福祉センターはまぎく荘	10	H13. 4. 1
障害者等日中一時支援事業	大みかけやき荘	日中 5	H18. 10. 1
グループホーム事業	けやきホーム	4	H21. 6. 15
ミニデイサービス事業	かねはたデイサービスセンター はまぎく荘デイサービスセンター	午前 5 午後 5	R 5. 4. 1 H27. 4. 1

3 自主事業

施設・事業名	種別	設置年月日
萬春園介護計画センター	居宅介護支援 (指定居宅介護支援事業所)	H15. 7. 23

Ⅲ 事務局（法人全体を含む）事業計画

1 行事等

時期	名称
4月	人事異動
5月	監事決算監査、理事会、新萬春園開所式（令和5年5月30日）
6月	新萬春園開所（令和5年6月4日）、評議員会、理事会、大学訪問（令和6年度求人）
7月	高校訪問（令和6年度求人）
8月	広報誌「事業団ひたち」発行
9月	職員採用試験（令和6年4月採用）
12月	理事会
2月	広報誌「事業団ひたち」発行、新年度予算編成
3月	理事会

2 日立市介護サービス事業経営戦略に基づく行動計画における推進目標

(1) 施設利用率の向上・介護報酬単価の引上げ

推進事項	主な取組事項
施設利用率の向上	利用者目標数及び実績数の情報共有、事前調査等の前倒し実施、短期入所空床情報の発信
報酬単価の引上げ	新たな加算取得及び加算に関する調査等、介護保険以外の各種使用料徴収の検討、処遇改善加算の取得に向けた調査・研究
財政見通しに基づく施設運営	長期財政見通しの策定、施設長会議による介護報酬の計画及び管理、担当課との定期的な情報交換の場の設置
広報活動の強化	居宅介護支援事業所向けPRチラシの作成・配布及びホームページを活用した営業活動

(2) サービス提供体制の整備

推進事項	主な取組事項
継続的な職員確保	ホームページの採用情報の充実、毎月の施設見学会の実施、実習生の積極的な受入れ
将来を担う人材育成	外部講師による階層別研修の実施、施設長補佐・主任による先進事例研究研修の実施
職場環境の向上	常務理事施設訪問・職員懇談、職員アンケートの実施、職場改善提案制度の導入、介護記録の電子化、勤怠システムの導入検討

(3) 地域福祉の推進

推進事項	主な取組事項
社会貢献・地域貢献	新萬春園地域交流スペースを活用した地域住民等との交流・連携、茨城県社会福祉協議会「ふくしきらり人」の活動への参加

3 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
施設長会議	施設運営に関する情報共有及び課題の検討	毎月	常務理事、事務局長、施設長等
施設長補佐・主任会議	法人内の課題に関する情報共有及び検討	年6回	事務局長、施設長補佐、主任

4 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
9月	階層別研修	入職1～3年目の職員
11月	接遇マナー向上研修	各施設より参加
2月	階層別研修	管理職、主任、リーダー等
備考	・外部研修は、必要に応じて適宜参加	

IV 施設別事業計画

萬春園

○特別養護老人ホーム「日立市萬春園」 (指定介護老人福祉施設)

○同 短期入所事業

(指定短期入所生活介護事業所・指定介護予防短期入所生活介護事業所)

○居宅介護支援「日立市萬春園介護計画センター」 (指定居宅介護支援事業所)

[施設共通目標]

- 1 介護保険制度に基づき、サービス提供者としての責任と自覚を持ち、施設及び居宅サービス事業の運営基準における趣旨の具現化を進める。
- 2 虐待防止及び身体拘束廃止の内外部の研修を積極的に実施・参加し、専門職としての意識の向上に努める。また、介護事故の発生及び再発を防止するため、徹底した原因分析、再発防止策の検討及び研修を実施する。
- 3 新施設への移転後も非常災害などの発生時に迅速な対応ができるよう新たな防災計画を策定し、自衛消防組織や避難ルート等の確認及び防災訓練の実施により防災意識の高揚を図るとともに、災害時に備えた備蓄品の点検・確認を行い、利用者が安心して生活できるように努める。
- 4 新型コロナウイルス感染症について、流行状況に応じた施設内の感染対策を講じ、全職員と情報共有を図るとともに、職員一人ひとりが公私にわたり感染対策を徹底することで、施設内での感染予防及び蔓延防止に努める。また、医療機関及び関係機関との連携により、迅速・的確な対応に努める。

[各施設の主要目標]

1 日立市萬春園

(1) 利用者確保目標

令和5年度目標	令和4年度実績 (R5.3.1現在)
100人	98人

(2) 重点目標

- ア 利用者のニーズや有する能力、家族の要望・意向に沿った個別の介護計画書、栄養ケア計画、訓練計画書を作成し、これらに基づくサービスを提供することにより、尊厳ある自立した生活を支援する。
- イ 主治医のもと看護職員の24時間オンコール体制、多職種協働体制の強化により利用者の症状緩和と健康管理に努めるとともに、医療機関と連携を図り、体調変化時の早期対応に努める。
- ウ 感染症マニュアルに基づく施設内の衛生管理、最新の感染症予防における実証されたデータ等を根拠とした様々な感染症対策の実施により、感染予防を徹底する。
- エ 身体拘束廃止委員会や第三者委員を含めた虐待防止委員会の定期的な開催、研修及び自己評価の実施により、利用者の人権尊重に関する意識向上を図る。
- オ 萬春園再整備に伴い、移転後の新施設に対応した人員配置や利用者がより快適な生活を送ることができる体制の検討・見直しを行い、新たな運営体制の構築を図る。また、新施設の設備を有効活用ができるよう使用方法等の研修を行うとともに、円滑な移転ができるよう計画的に準備を進める。
- カ 「あんしん・ぬくもり・やすらぎ」をキーワードとして、超高齢社会に対応した質の高いケアと適正なサービスを提供するとともに、新施設においても地域の一員として、地域住民や社会資源との連携及び情報共有を図り、地域に根差した施設運営を進める。

(3) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	観桜ドライブ	街路樹や公園等の桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
5月	端午の節句、菖蒲湯	五月人形の鑑賞や菖蒲湯で季節感を味わう。
6月	新緑ドライブ	新緑や初夏の海岸を眺め、気分転換を図る。
7月	七夕	願いを込めた短冊などを飾り、雰囲気味わう。
8月	納涼会	屋台風メニューやゲームで夏祭りの楽しいひと時を過ごす。
9月	敬老会	利用者に敬意を表し、家族と共に長寿の祝いをする。
	十五夜	団子を作りお供えすることで、秋の雰囲気味わう。

10月	十三夜	団子を作りお供えすることで、秋の雰囲気味わう。
11月	紅葉ドライブ	紅葉を鑑賞し、秋の訪れを感じる。
12月	忘年会	一年を振り返り、職員と共に年の瀬を感じる。
	柚子湯	柚子の香りを楽しみながら、風邪の予防をする。
	餅つき	師走の雰囲気や新年を迎える気持ちを高める。
1月	賀詞交換会	おせち料理や昔ながらの遊びで正月の雰囲気味わう。
	初詣	近隣の神社で新年を迎え、健康と幸せを祈願する。
2月	節分	豆まきを行い、一年の健康を祈願する。
3月	観梅ドライブ	近隣の梅花を鑑賞し、春の訪れを感じる。
	ひな祭り	ひな人形を飾り、春の雰囲気味わう。
備考	食事会、買物、外出、散歩などは、随時実施	

(4) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	職員体制等の検討及び情報共有	随時	全職員
ステーション会議	利用者個々の介護内容・方法の検討	年4回	施設長、各専門職、介護職員
ケアカンファレンス	各サービス計画書の検討	毎月	施設長、各専門職、介護職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、各専門職、介護職員
施設行事の担当者会議	施設行事の打ち合わせ	随時	施設長、各専門職、担当委員
入所検討委員会	入所希望者についての優先順位及び受入可否の検討	年6回	施設長、第三者委員、市介護保険課職員、担当委員
事故・安全検討委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
生活検討委員会	介護内容及びマニュアルの検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員

身体拘束廃止委員会	身体拘束の廃止及び適正化の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症対策の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
痰吸引検討委員会	痰吸引の安全管理及び研修	年4回	施設長、各専門職、担当委員
褥瘡防止検討委員会	褥瘡防止に関わる事項の検証及び防止策の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
防火管理委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年4回	施設長、担当委員等
環境整備検討委員会	施設内外の環境美化及び点検	年4回	施設長、各専門職、担当委員
萬春園再整備検討委員会	新施設における生活導線、職員体制、備品等の検討	随時	施設長、担当委員等

(5) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
	身体拘束廃止・虐待防止・事故発発生防止研修	全職員
	新施設設備等研修（～6月）	全職員
9月	痰吸引研修	介護職員（認定特定行為業務従事者）
10月	手洗い方法研修	全職員
	ノロウイルス対策研修	全職員
11月	身体拘束廃止・虐待防止・事故発発生防止研修	全職員
3月	普通救命講習会	看護職員、介護職員等

備考	<ul style="list-style-type: none"> ・排せつ介助研修は、随時実施 ・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：9月・3月、夜間想定訓練：1月、風水害想定訓練：10月、ステーション毎の避難訓練：その他の月
----	---

2 日立市萬春園介護計画センター

(1) 重点目標

ア 利用者の心身の状況やその環境に応じた適切な保険医療及び福祉サービスが、効率的に提供されるよう、公正中立なケアマネジメントを行う。

イ 地域ケア会議や研修会に積極的に参加するとともに、職員一人ひとりが自己研鑽に励み、介護支援専門員としての専門性の向上を図る。

ウ 感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できるよう、業務継続計画（BCP）の策定等を進める。

かねはた

○養護老人ホーム「日立市かねはた老人ホーム」

○同 生活管理指導短期宿泊事業

○老人短期入所施設「日立市かねはた短期入所施設」

(指定短期入所生活介護事業所・指定介護予防短期入所生活介護事業所)

○同 障害福祉サービス事業 (指定短期入所事業所)

○老人デイサービスセンター「日立市かねはたデイサービスセンター」

(指定通所介護事業所・指定基準型通所介護サービス事業所・認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所)

○同 ミニデイサービス事業

○生きがづくり支援事業

[施設共通目標]

- 1 新型コロナウイルス感染症については、引き続き感染状況等に関する情報収集を行い、適時適切な対応に努めるとともに、定期的に研修を行い、標準予防策及び蔓延防止策の徹底を図る。
- 2 ゆとりと豊かな心を持って利用者を支援するため、職員間のコミュニケーションの活性化、支え合う職場環境、風通しの良い施設風土の構築を図る。
- 3 研修等を通して、職員間での様々なハラスメントについての理解を深め、ハラスメントが発生しにくい職場環境や職場内の秩序の維持に努める。
- 4 火災や地震、風水害など様々な災害を想定とした防災訓練を計画的に実施し、安全かつ迅速な避難・誘導體制づくりに努め、組織全体に防災対応力を高める。

[各施設の主要目標]

- 1 日立市かねはた老人ホーム

(1) 利用者確保目標

令和5年度目標	令和4年度実績 (R5.3.1現在)
45人	43人

(2) 重点目標

- ア コロナ禍における行動制限の緩和に伴い、行事や余暇活動の再開や拡充を図り、利用者の楽しみや生活の満足度を高めるとともに、利用者一人ひとりが自立した日常生活を継続して営めるよう、最適な支援に努める。
- イ タブレットを活用した支援記録の電子化により業務の効率化を図り、情報共有が円滑にできる職場環境の構築に努め、職員間の連携強化と職員全体の資質向上に努める。
- ウ 多様化する利用者個々のニーズに対応するため、オンライン研修会等に積極的に参加し、専門的知識の習得や相談援助技術の研鑽に励むとともに、支援者としての自覚を培い、サービスの質の向上に努める。
- エ 地域行事への参加及び環境美化活動などを継続的に支援し、社会性の維持と地域に開かれた施設を目指す。

(3) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	観桜ドライブ	市内の名所となっている桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
5月	野外昼食会	春の陽気を感じながら、野外で昼食を楽しむ。
6月	映画会	大型スクリーンで映画を楽しむ。
	外食会	普段の食事と違った雰囲気、旬の味覚を楽しむ。
7月	小グループ旅行	市内の観光スポットを巡り、地元の良さを感じる。
8月	納涼会	夕涼みを兼ねて、夏祭りの気分を楽しむ。
9月	敬老会	利用者に敬意を表し、長寿の祝いを行う。
	小グループ旅行	豊かな自然を楽しみながら、ピザ作りを行う。
10月	小グループ旅行	海浜公園で紅葉や秋の花を楽しむ。
11月	合同文化祭	各種クラブで制作した作品を展示し、鑑賞する。
	衣類買物外出	自分の好みに合った衣類を購入し、外食を楽しむ。
12月	焼芋会	園芸クラブで育てた芋を食べ、収穫の喜びを味わう。
	忘年会	一年を振り返り、利用者間の親睦を深める。
	小グループ旅行	街のイベント（クリスマスイルミネーション）を楽しむ。

1月	賀詞交換会	新春を祝うとともに、新年の無病息災を誓い合う。
	初釜	新春を祝うお茶会を行い、季節感を味わう。
2月	節分	豆まきを行い、厄を払い一年の健康を祈願する。
	レクリエーション大会	身体を動かし、各種ゲームを楽しむ。
3月	映画会	大型スクリーンで映画を楽しむ。
	小グループ旅行	ドライブを楽しみながら、日立市の歴史に触れる。
備考	誕生会は、毎月実施、ミニ行事は、適宜実施	

(4) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	利用者個々の支援内容・業務内容の情報共有及び検討	随時	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、各専門職、支援員
事故防止委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症防止の実施計画の策定及びマニュアルの見直し	年4回	施設長、各専門職、担当委員
施設安全管理委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
ケアプラン検討委員会	ケアプランに関する検討	年2回	施設長、各専門職、担当委員
身体的拘束等適正化検討委員会	身体的拘束等の廃止、適正化に向けた現状把握、改善策の検討	年4回	施設長、担当委員等
業務改善委員会	業務内容の見直し及び改善の検討	年4回	施設長、担当委員等

(5) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
5月	感染症予防研修	全職員
6月	介護技術研修	生活相談員、支援員
7月	ハラスメント研修	全職員
9月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
10月	普通救命講習会	全職員
	身体的拘束等適正化研修	全職員
11月	感染症予防研修	全職員
2月	身体的拘束等適正化研修	全職員
備考	・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：5月・11月（夜間想定訓練）、風水害想定訓練：10月	

2 生活管理指導短期宿泊事業

(1) 重点目標

関係機関との連絡調整を密に行い、利用者一人ひとりの生活状況に応じた適切な生活支援を行い、基本的な生活習慣の確立が図れるよう支援する。

(2) 主要行事 かねはた老人ホームの行事に参加する。

3 日立市かねはた短期入所施設

(1) 利用者確保目標

令和5年度目標	令和4年度実績（R5.3.1現在）
14.2人	13.5人

(2) 重点目標

ア 長期利用や緊急入所の積極的な受け入れや居宅介護支援事業所との信頼関係の構築により、利用率の向上を図る。

イ 利用者の趣味・嗜好を反映したレクリエーション活動の提供、利用者の声を反映した季節に応じた行事の実施などにより、リピート率の向上を図る。

ウ ソーシャルディスタンスの確保、定期的な換気、生活空間の消毒など、感染予防を行い、安心して利用できる生活環境を提供する。

エ 業務内容の見直しを行い、業務の効率化を図るとともに、職員間の連携を密にし、組織力の強化に努める。

(3) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	観桜会	市内の名所となっている桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
5月	端午の節句	菖蒲湯により季節感を楽しむ。
7月	七夕	七夕の飾り付けを行い、季節感を楽しむ。
8月	納涼会	夕涼みを兼ねながら、夏祭りの気分を楽しむ。
9月	敬老の集い	利用者に敬意を表し、長寿の祝いをする。
10月	月見	団子を作ってすすきを飾り、季節感を楽しむ。
	ミニ運動会	利用者同士で力を合わせて、各種競技を楽しむ。
11月	合同文化祭	利用時に制作した作品を展示し、鑑賞する。
12月	忘年会	1年間の労をねぎらい、年末気分を味わう。
1月	新年を祝う会	賀詞交換を通し、新年を迎えた喜びを味わう。
2月	節分	豆まきを行い、厄を払い一年の健康を祈願する。
備考	おやつ作りは、毎月実施	

(4) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	利用者個々の介護内容の情報共有及び検討	随時	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、各専門職、介護職員
事故防止委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、担当委員等

虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
介護技術向上委員会	介護技術や知識、サービス内容の検討	年3回	施設長、担当委員等
感染症対策委員会	感染症防止の実施計画の策定及びマニュアルの見直し	年4回	施設長、担当委員等
施設安全管理委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年4回	施設長、担当委員等
身体的拘束等適正化検討委員会	身体的拘束等の廃止、適正化に向けた現状把握、改善策の検討	年4回	施設長、担当委員等
業務改善委員会	業務内容の見直し及び改善の検討	年4回	施設長、担当委員等

(5) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
5月	感染症予防研修	全職員
6月	介護技術・接遇研修	全職員
7月	風通しの良い職場づくり研修	全職員
9月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
10月	普通救命講習会	全職員
	身体的拘束等適正化研修	全職員
	ハラスメント研修	全職員
11月	感染症予防研修	全職員
	介護技術・接遇研修	全職員
2月	身体的拘束等適正化研修	全職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・ 総合防災訓練：5月・11月（夜間想定訓練）、風水害想定訓練：10月 	

4 日立市かねはたデイサービスセンター

(1) 利用者確保目標

区分	令和5年度目標	令和4年度実績 (R5.3.1現在)
一般型	17.0人	14.3人
認知症対応型	3.2人	2.8人

(2) 重点目標

ア 在宅での生活がその人らしく継続できるよう家族及び関係機関と連携を行い、利用者の能力と個性を活かした援助に努める。

イ 利用者が楽しく参加できるレクリエーションや趣味活動を提供し、張りのあるひと時が過ごせるよう努めるとともに、心身の活性化及び生きがいの創出を図る。

ウ 認知症に関する理解を深めるとともに、職員間及び家族とのコミュニケーションを密にすることで、利用者一人ひとりの日々の状態変化等を把握し、「寄り添う」ケアを実施する。

エ 情報共有が円滑にできる職場環境の構築を図り、職員間の連携強化と職員全体の資質向上に努める。

オ 施設内研修により感染症についての知識や意識の向上を図り、感染予防対策の徹底に努める。

(3) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	花見ドライブ	ドライブで桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
5月	お楽しみ風呂	菖蒲湯により季節感を楽しむ。
	屋外で食事	屋外で食事し、中庭の花や新緑で季節を感じる。
7月	七夕	短冊などの七夕の飾り付けやボランティアによる音楽演奏を行い、季節感を楽しむ。
8月	お楽しみ風呂	ラベンダー湯により夏の疲れを癒す。
9月	敬老会	ボランティアによる歌や踊りを鑑賞し、長寿を祝う。
	運動会	利用者同士で力を合わせて、各種競技を楽しむ。
10月	月見	団子を作ってすすきを飾り、季節感を楽しむ。

11月	おやつ作り	料理を楽しみながら心を満たす。
	合同文化祭	利用時に制作した作品を展示し、鑑賞する。
12月	お楽しみ風呂	柚子湯により季節感を楽しむ。
1月	初釜	新年を祝うお茶会を行い、季節感を味わう。
2月	節分	豆まきを行い、厄を払い一年の健康を祈願する。
3月	おやつ作り	桜餅を作り、季節感を楽しむ。
備考	誕生会は、毎月実施	

(4) 会議・委員会

名称	主な内容	頻 度	参加者
職員会議	利用者個々の介護内容の情報共有及び検討	随 時	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎 月	施設長、担当職員等
事故防止委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年 4 回	施設長、担当委員等
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年 4 回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症防止の実施計画の策定及びマニュアルの見直し	年 4 回	施設長、担当委員等
施設安全管理委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年 4 回	施設長、担当委員等
運営推進会議	サービス提供状況等の報告、サービスに関する意見交換	年 2 回	施設長、外部委員 (地域住民の代表 外 4 名)
身体的拘束等適正化 検討委員会	身体的拘束等の廃止、適正化に向けた現状把握、改善策の検討	年 4 回	施設長、担当委員等
業務改善委員会	業務内容の見直し及び改善の検討	年 4 回	施設長、担当委員等

(5) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
5月	感染症予防研修	全職員
6月	認知症ケア研修	全職員
7月	ハラスメント研修	全職員
9月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
10月	普通救命講習会	全職員
	身体的拘束等適正化研修	全職員
11月	感染症予防研修	全職員
2月	身体的拘束等適正化研修	全職員
備考	・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：5月・11月、風水害想定訓練：10月	

(6) 臨時営業日

年末年始	・一般型（土・祝日は通常営業） 12/29 ・認知症対応型（祝日は通常営業） 12/29
------	---

5 ミニデイサービス事業

(1) 重点目標

日常生活を営む上で支援が必要な高齢者に対し、要介護状態等となることを予防し、可能な限り住み慣れた地域で、その人らしい自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の希望及び身体的状況に応じた機能訓練、入浴、健康体操、趣味活動、レクリエーション等の短時間の通所型サービスを提供する。

(2) 主要行事 かねはたデイサービスセンターの行事に参加する。

6 生きがいつくり支援事業

(1) 重点目標

ア 軽度スポーツ、趣味活動及び教養講座などを実施し、生きがい活動の助長を図り、運動機能の向上、閉じこもり・認知症・うつなどの予防を行う。

イ 利用者一人ひとりに応じた介護予防支援計画に沿って、サービスの提供と評価を行い、運動機能の維持・改善を支援する。

(2) 主要行事

ア 季節感を取り入れたレクリエーション活動（節句、七夕、クリスマスなど）

イ 教養講座

はまぎく荘

○老人福祉センター「日立市老人福祉センターはまぎく荘」

○老人デイサービスセンター「日立市はまぎく荘デイサービスセンター」

(指定通所介護事業所・指定基準型通所介護サービス事業所)

○同 ミニデイサービス事業

[各施設の主要目標]

1 日立市老人福祉センターはまぎく荘

(1) 重点目標

ア 感染症予防対策の徹底を図り、安心して利用できる施設づくりに努める。

イ 「交流スペース」を活用し、地域住民の情報交換や交流の拠点となるよう地域に根差した施設運営を行い、利用の促進を図る。

ウ 非常災害などの発生時に迅速な対応ができるよう様々な想定をした防災訓練を実施し、職員の防災意識の高揚に努める。

(2) 施設行事

時期	行事名	目的等
5月	クラブ代表者会議	施設利用に関する意見交換を行う。
12月	教養講座	講座を開催し、教養の向上や健康増進を図る。
	年末大掃除	職員及び利用者で館内外の大掃除を行い、新年を迎える準備をする。

2 日立市はまぎく荘デイサービスセンター

(1) 利用者確保目標

令和5年度目標	令和4年度実績 (R5.3.1現在)
12.5人	9.7人

(2) 重点目標

ア 利用者及び家族へのアンケートの実施により、細やかな要望を把握するとともに、利用者に寄り添ったサービスの提供を行い、利用率向上に努める。

イ 感染症予防対策を徹底するとともに、趣味活動やレクリエーションの充実を図り、安心かつ満足度の高いサービス提供に努める。

ウ 外部研修の活用、職員間の情報共有により様々な情報やニーズを捉え、事故及び不適切なケアの防止を図り、サービスの質の向上に努める。

(3) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	花見ドライブ	桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
	こいのぼり作り	昔を懐かしみながら、交流を図る。
5月	花植え会	花壇などに花や野菜を植え、季節感を味わう。
6月	買物ツアー	利用者の希望に沿った店に行き、買物を楽しむ。
7月	七夕	願い事を書いた短冊を飾り、季節を感じる。
	おやつ作り	手作りのおやつを作りながら、交流を図る。
8月	夏祭り	夏祭りの雰囲気を楽しみながら、交流を図る。
9月	敬老会	利用者に敬意を表し、長寿の祝いをする。
10月	ミニ遠足	近隣に外出し、気分転換を図る。
11月	作品展示会	制作した作品を展示・鑑賞し、生活意欲の向上を図る。
	買物ツアー	利用者の希望に沿った店に行き、買物を楽しむ。
12月	忘年会	クリスマスの飾り付けなどにより、季節感を楽しむ。
1月	初釜	新年を祝うお茶会を行い、季節感を味わう。
2月	節分	豆まきを行い、厄を払い一年の健康を祈願する。
3月	ひな祭り	ひな人形を飾り、春の訪れを感じる。
	おやつ作り	手作りのおやつを作りながら、交流を図る。
備考	変わり湯、誕生会は、毎月実施	

(4) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	利用者個々の介護内容・業務内容の情報共有及び検討	毎月	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	隔月	施設長、調理員、介護職員

虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症対策の確認及び検討	年2回	施設長、担当委員等
事故防止委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年2回	施設長、担当委員等

(5) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
5月	介護技術研修	全職員
6月	医務研修（応急・救急処置）	全職員
10月	介護技術研修	全職員
11月	医務研修（感染症予防）	全職員
12月	虐待防止研修	全職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：5月・10月、風水害想定訓練：7月 	

(6) 臨時営業日

月曜祝日	7/17、9/18、10/9、1/8、2/12
------	-------------------------

3 ミニデイサービス事業

(1) 重点目標

日常生活を営む上で支援が必要な高齢者に対し、要介護状態等となることを予防し、可能な限り住み慣れた地域で、その人らしい自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の希望及び身体的状況に応じた機能訓練、入浴、健康体操、趣味活動、レクリエーション等の短時間の通所型サービスを提供する。

(2) 主要行事 はまぎく荘デイサービスセンターの行事に参加する。

大みかけやし荘

○障害者支援施設「日上市大みかけやし荘」

(指定生活介護事業所・指定施設入所支援事業所)

○同 障害福祉サービス事業

(指定短期入所事業所)

○障害者等日中一時支援事業

○グループホーム事業「けやしホーム」

(指定介護サービス包括型共同生活援助事業所)

1 日上市大みかけやし荘

(1) 利用者確保目標

令和5年度目標	令和4年度実績 (R5.3.1現在)
50人	50人

(2) 重点目標

ア 新型コロナウイルス感染症対策の変化に留意しながら、日中活動や行事の実施方法の見直しを行い、利用者が満足度の高い生活を送ることができるよう支援する。

イ 利用者の高齢化や重度化に対応し、障害特性に即した支援を行うため、日課等の検討・見直しを行うとともに、PDRサイクル（準備・実行・評価）に基づき、日々の支援上で生じた課題に対して迅速に対応し、再発防止と改善に努める。

ウ タブレットを活用した支援記録の電子化により、記録の効率化や施設全体の円滑な情報共有を図り、サービスの質の向上と業務の負担軽減に努める。

エ 相談支援事業所や関係機関と連携し、利用者の地域生活移行の可能性や障害者支援施設の在り方について、検討を進める。

オ 定期的な会議の開催等による職員相互の情報共有と意見交換を推進するとともに、施設内外の研修への参加と自己研鑽により、職員一人ひとりの支援力の向上を図る。

(3) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	観桜ドライブ	花見ドライブを行い、春の訪れを感じる。

5月	端午の節句	折り紙やちぎり絵で鯉のぼりを作り、雰囲気を楽しむ。
6月	けやき祭	けやき荘の創立を祝う。
7月	七夕	短冊に願を込め、笹に飾り付けを行い、季節感を味わう。
	外食会	棟単位で外食会を行い、自分の好きなメニューを選んで楽しむ。
8月	夕涼み会	夕涼みを兼ねて、夏祭りの雰囲気を味わい、ひと時の涼を感じる。
10月	野外昼食会	野外での食事やレクリエーションを行い、楽しい時間を過ごす。
11月	焼き芋	畑で収穫したサツマイモで旬の食材を味わう。
12月	年忘れ会	食事等の楽しい時間を過ごし、一年の労をねぎらう。
	クリスマス会	ツリーやケーキなどによりクリスマスの雰囲気を楽しむ。
1月	新春の集い	新年を祝い、お正月気分を味わう。
2月	節分	豆まきをして、無病息災を願う。
3月	桃の節句	雛人形を飾り、雰囲気を楽しむ。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会は、毎月実施 ・けやき' Sキッチン、各棟でのレクリエーション等は、随時実施 ・小グループ遠足は、5月頃から随時実施 ・地域の行事（スポーツ大会・運動会等）には、新型コロナの状況を踏まえて適宜参加 	

(4) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	事業計画、業務内容などの情報共有及び検討、研修報告	年2回	全職員
棟会議	利用者個々の支援内容の情報共有及び検討	随時	施設長、各専門職、生活支援員
主任会議	施設内の課題に関する改善策の検討、職員研修、人材育成	随時	施設長、各専門職、生活支援員

ケース検討会議	個別支援計画書、栄養ケア計画の検討、評価、見直し	毎月	施設長、各専門職、担当者
給食検討会議	献立及び提供方法の検討、嗜好調査	毎月	施設長、各専門職、生活支援員
生活検討委員会	日課・生活・活動班の検討、施設の在り方検討、記録システムの活用促進	年4回	施設長、各専門職、担当委員
事故防止検討委員会	ヒヤリハット・支援事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年5回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症予防策の実施、検討及び研修の実施	年4回	施設長、担当委員等
安全対策委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年4回	施設長、担当委員等
個別支援計画作成委員会	個別支援計画書・栄養ケアマネジメントに関する検討、計画書作成研修の実施及び指導	随時	施設長、担当委員等
身体的拘束等適正化検討委員会	身体的拘束等の廃止、適正化に関する検討、研修の実施	年4回	施設長、担当委員等

(5) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
6月	感染症対策研修（新型コロナウイルス発生対応訓練）	全職員
7月	口腔ケア研修	生活支援員
9月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
10月	感染症対策研修（手洗い方法、嘔吐物の処理等）	全職員

11月	介護・支援技術研修	全職員
12月	普通救命講習会	全職員
3月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：6月・11月（夜間想定訓練）、風水害想定訓練：9月 	

2 けやきホーム

(1) 重点目標

ア 新型コロナウイルス感染症対策の変化に留意しながら、自己選択・自己決定を尊重し、地域の中で、その人らしい自立した生活が送れるよう支援する。

イ 毎日の体調確認により体調変化を早期発見するとともに、医療機関との連携を密にし、利用者の健康維持に努める。

ウ 火気の点検・確認等の巡回を実施し、安全の確保に努めるほか、定期的な防災訓練を行い、利用者が速やかに避難や連絡ができるよう防災意識の向上を図る。

(2) 施設行事等

時期	行事名	目的等
4月	観桜ドライブ	花見ドライブを行い、春の訪れを感じる。
8月	夕涼み会	夕涼みを兼ねて、夏祭りの雰囲気を楽しむ、ひと時の涼を感じる。
10月	野外昼食会	野外での食事やレクリエーションを行い、楽しい時間を過ごす。
11月	焼き芋	畑で収穫したサツマイモで旬の食材を味わう。
12月	クリスマス会	クリスマス会を行い、親睦を深める。
1月	正月	おせち料理を食べながら新年を祝う。
3月	観梅ドライブ	観梅を兼ねてドライブを行い、季節感を味わう。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・食事会、外食会、ドライブは、随時実施 ・小グループ遠足は、5月頃から随時実施 ・総合防災訓練：11月（けやき荘に参加）、避難訓練：6月 	

(3) 会議

名称	主な内容	頻 度	参加者
ケース会議	個別支援計画書に基づく支援内容の検討、評価、見直し	随 時	施設長、各専門職、担当者